



かなざきひさの町政報告

(金崎ひさ)

カット 三留正子

H 13. 12. 30

かなざきひさを応援する会・会報 16 号 発行責任者 伏見 小枝

葉山町議会第 4 回定例会が開催されました。

(期日平成 13 年 12 月 4 日～12 月 17 日)

○かなざきひさの一般質問

(1) 旧役場跡地の利用構想について

1 月の町長選で、旧役場跡地を福祉の殿堂とする、という公約があり、6 月定例会でかなざきひさの一般質問の際、町立保育園の建替え候補地として考えていると、明確に答弁されています。



質問と提案	理事者側の答弁
跡地利用の具体的構想について。	福祉的機能を集約した施設を設置する。(町長)
町立保育園建替えの為の構想は。	入所待機児童の増加などに対応する為、葉山町保育所建設庁内検討会を設置し、目下、調査研究を行っている。(町長)
検討会の進捗状況は。	職員により、たたき台をつくった上で、関連する方面から意見を伺い、対応をはかる。(町長)
福祉の拠点として、保育園以外、どのような施設を考えているのか。	福祉全般という視点で議論を進める中で、土地の制約もあり、どの程度まで包含できるか、今後検討したい。(町長)
旧役場跡地の敷地面積は。	2.145 ㎡ (福祉環境部長)
計画がはっきりするのはいつ頃か。	14 年度に対応したい。(町長)
かなざきひさの考え	早い時点で議会にも構想を示すよう申し入れました。町立保育園に関しては、障害児枠の問題など、推し進めていきたい持論があり、本当に町民のためになる福祉の拠点となるよう、意見を述べていきたいと思っております。



(2) JR 逗子駅のバリアフリー化について

第 3 回定例会で提出された「JR 逗子駅にエスカレーター又はエレベーターの設置を求める陳情」が趣旨了承・町長に善処方要望を出す、ということに決まりました。

質問と提案	理事者側の答弁
設置に対する町長の考えは。	必要性は十分認識している。(町長)
逗子市との話し合いは。	事務レベルでの情報や意見の交換を行い、JR との協議結果の報告も逗子から受けているが、現時点では、明確な方針を見出すまでには到っていない。(町長)
実現に向けての検討委員会の設置は。	当面は逗子市の対応を見守りたい。
以前と比べて、腰が引けたように思うが。	行政区域ということで、葉桜会館建設の折、逗子市の協力を得られなかったのが原因。(町長)
7,000 名以上の町民の方々の要望をどう考えるか。	逗子市の行政区域なので推移を見守っていきたい。(町長)
下り電車の 1 番線到着の増便について、JR に要望して欲しい。	JR 側に町民の意思を要望書として示す。(町長)
かなざきひさの考え	JR はバリアフリー化の為の国の補助金を活用したい、と考えている。建築費に対して、国 1/3・JR 1/3・残り 1/3 は地方自治体の負担となる。神奈川県・逗子市・葉山町がその対象になると思うが、葉山町として行政区域外ということで、町税を費やすことを躊躇しているように思われる。かなざきひさは、多くの町民の願いでもあり、公共の福祉の為に役立つことであるので、たとえ負担金を払っても、実現すべきことではないかと思う。

(3) 重度障害者タクシー券交付事業について

質問と提案	理事者側の答弁
身体障害者手帳 3 級の方を含む対象範囲の拡大について。	福祉施策全体の中で考えた場合、対応すべき範囲はある程度限定せざるを得ない。 (町長)
身障手帳 3 級の方々に対して状況把握は行ったか。	やっていない。 (福祉環境部長)
どうして行わなかったのか。	福祉課の内部で現行どおりの対応が一番良いと考えた。 (福祉環境部長)
行政のやる事業を充実させる為には、該当者の要望を一つ一つ汲み上げていく必要があるのではないかと。	要望については伺う必要はある。 (町長)
身障手帳 3 級まで範囲を拡大しなければ、この事業の本筋から少しはずれるのではないかと考えるが。	いずれは是正する時期もあると思うので、十分調整、検討する中で対応を考えたい。 (町長)
かなざきひさの考え 行政の行う事業を更に充実していく為には、その該当者の要望を常に吸い上げていこうという意識を決して忘れてはいけない。誰の為の、何の為の事業かということの基本から考えてもらいたい。	



ゴミ焼却炉施設の排ガス高度処理施設整備事業の工事費 9 億円 (ダイオキシン対策)

借り入れの為、補正予算が計上されました。

平成 14 年 12 月までに完成しなければならない施設整備事業です。排ガス高度処理施設の工事中は、今まで通りゴミ収集を行い、焼却炉は使用可能とのことです。ただし、接続の為に 10 日間だけ、炉を止めなければなりません。その間、集めたゴミはクリーンセンター内に保管する予定ですが、万が一接続期間が長引いた場合を想定して、ゴミ処理外部委託の為に予算計上がなされるとのことです。ゴミの減量化に真剣に取り組むことにより、無駄に町税を費やすことから免れます。この際、町民の方々に、ゴミの減量化に対して意識を持って頂く為にも、大々的に PR すべきではないかと、提案いたしました。



編集後記

お忙しい時期寒い毎日ですが、お元気でしょうか。生きていくとつくづく色々な事があるものだなあと感じます。いい事ばかりだと良いのですが、どうもいい事は少ないように思えます。個人的な事でしたら、気持ちの持ちようといえる事もあるかもしれませんが、自分から離れたところでの突然の事件、事故、戦いなどは、どうしようもありません。人は皆、健康で、幸せで、平和に生きていきたいと思っているはずなのに、毎日、暗いニュースが流れてきます。100 年先の 22 世紀の始まりはいったい人類は、地球はどうなっているのだろうとタイムマシンでもあれば、確かめにいつてみたいところです。

私達にできることは、とにかく自分に与えられた各々それなりの役目を見失わず、きちんと果たしていくことではないでしょうか。父親は父親として、母親は母親として、様々な仕事についている人は、その仕事をする上で、いかに真面目に取り組んでいくか。それぞれにいろいろながらみをかかえていたり、世の中の流れがあったりとなかなか本筋だけではいけないこともあるでしょうが、体裁にとらわれず、本筋を見極めて、今自分自身はどうあるべきなのか、ちょっと考えてみたいものです。

『笑門来福』まずは、笑顔で新しい年をスタートさせましょう。来年もどうぞよろしく願いいたします。 伏見小枝

21 世紀に入り、一日一日慎重に、議員として悔いのないよう活動して参りました。どのような状況になっても、人間らしく安心して生活できる葉山の町づくりをしたい、と考えるようになったきっかけの一つに、義母の介護がありました。その義母が今年 97 歳の天寿を全うし、私にとっては節目の年になりました。これからも義母との体験を活かし、血のかよった福祉行政を追求していきたいと思えます。寒さに向かいます。くれぐれも御自愛の上、良い御年を御迎え下さいませ。 金崎ひさ

ご意見、ご要望などお聞かせ下さい。

発行者 かなざきひさを応援する会 会長 伏見小枝 発行所「事務局」〒240-0115 上山口 1878-9
TEL&FAX 78-7961 携帯 090-407-62425 E-Mail kanazakihi@aol.com